

平成28年1月28日

愛媛大学
伊予銀行

「いよぎん愛媛大学発ベンチャー応援ファンド」の創設について (共同記者会見)

このたび、伊予銀行（いよぎんキャピタル（株）を含む、以下同じ）は、平成28年2月1日付けで、愛媛大学発のベンチャー企業を支援するファンドを創設いたします。

伊予銀行、愛媛大学、テクノネットワーク四国（株）（四国TL0、以下同じ）は、連携して本ファンドを運営し、愛媛大学が研究成果として生み出した技術を、迅速かつ円滑に地域の産業界等へ移転する活動を活性化いたします。

本ファンドは、未だ十分な経済的検証・実証が行われていない、愛媛大学発のベンチャー企業に対して、ビジネスプランの作成や未整備のデータ獲得など、その経済的検証・実証をサポートすることを目的に創設するものです。

また、本ファンドにおいては、主に伊予銀行は本ファンドを通じての出資および事業計画の作成支援、愛媛大学は技術提供、四国TL0はベンチャー経営支援とその経済的検証・実証という三者の役割分担の下に運営することとしており、三者連携の下で、このようなアリーステージの大学発ベンチャーの経済的検証・実証を支援するファンド創設は全国的にも極めて希な取り組みです。

本ファンドの創設により、地方創生への貢献が期待されます。

【ファンドの概要】

- (1) 愛媛大学の知的財産を元に設立され、設立後5年以内のベンチャーを支援する。
- (2) 総額1億円、10年間の規模とし、一件あたり500万円を上限に支援する。
- (3) 主に事業化に向けた追加データの取得を含む経済的な検証・実証を用途とし、案件ごとの検討会を四国TL0が運営する。
- (4) 原則として大学は知的財産を現物出資（ライセンス）する。
- (5) 案件の受付は愛媛大学社会連携推進機構が担い、審査はいよぎんキャピタル(株)投資委員会が担当する。

つきましては、下記のとおり共同記者会見を行いますので、是非、取材くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日時：平成28年2月5日（金）14時30分～（受付14時00分～）
- 2 場所：愛媛大学本部5階第1会議室
- 3 次第：別添資料をご参照ください

※送付資料2枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学 社会連携推進機構
知的財産センター長 土居 修身
Tel : 089-927-8651
Mail : doi.osami.mu@ehime-u.ac.jp

「いよぎん愛媛大学発ベンチャー応援ファンド」の
創設にかかる共同記者会見 式次第

1. 日 時

平成28年2月5日（金） 14時30分～

2. 場 所

愛媛大学本部5階第1会議室

松山市道後樋又10番13号

3. 出席者

| | | | |
|-------|---------|----|----|
| ○愛媛大学 | 学長 | 大橋 | 裕一 |
| ○伊予銀行 | 代表取締役頭取 | 大塚 | 岩男 |

(陪席者)

| | | | |
|-------------|--------------|----|----|
| 伊予銀行 | 常務取締役 | 宮崎 | 修一 |
| 伊予銀行 | ソリューション営業部長 | 長野 | 雅彦 |
| いよぎんキャピタル | 代表取締役社長 | 高橋 | 利幸 |
| テクノネットワーク四国 | 取締役事業本部長 | 酒井 | 一夫 |
| 愛媛大学 | 理事・副学長 | | |
| | 社会連携推進機構長 | 仁科 | 弘重 |
| 愛媛大学 | 社会連携推進機構副機構長 | 野村 | 信福 |
| 愛媛大学 | 社会連携推進機構副機構長 | 土居 | 修身 |
| 愛媛大学 | 社会連携支援部長 | 瀬野 | 英二 |

4. 次 第

○ 開 会

(進行：和田社会連携課長)

○ 挨拶

- ・大橋 学長
- ・大塚 頭取

○ 概要説明

- ・ソリューション営業部長 長野

○ 質疑応答 ※大橋学長と大塚頭取は、15時30分で退席

○ 閉 会